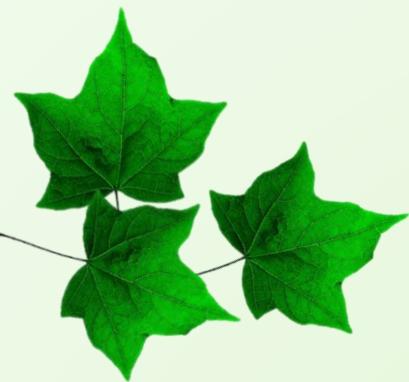


平成28年度

# RyuMIC PROGRAM

## RyuMIC研修医の声



たましろ こういち

No.3 2年目 玉城 剛一

プログラム「ていだ」



将来の進路を一つに絞りきれなかった私は、多くの研修協力病院・研修協力施設のあるRyuMICのていだプログラムに入り、1年目で必修科を中心にローテートし、選択科研修に多院を含め様々な診療科を回るつもりでいました。当初希望したローテーション表は実は今と結構違っていて、国家試験が終わり無事合格発表のあった後、年度末の歓迎会で当時の新2年目研修医の先輩からアドバイスを受け、早速4月のオリエンテーション期間中に変更希望を出したのを覚えています。RyuMICのプログラムでは院内1ヶ月前、院外3ヶ月前までは診療科の変更が可能です。私の場合、院外の変更だったため無理かもしれないと諦め半分の申請でしたが、無事希望通りの研修を受けることができました。調整をしていただいたスタッフには今でも大変感謝しています。

こうして3ヶ月間を院内で、3ヶ月間を院外の研修指定病院にて研修を受けてどちらも大変良い研修を積むことができました。よく初期研修先を検討する時に、大学病院と市中病院を比較されることが多いと思いますが、実はRyuMICプログラムでは両方とも経験することができます。2年間の研修期間のうち8ヶ月は琉大病院で研修を行う、とあるため、初期研修期間の大半を院外で過ごすことも可能ですし、実際そうされている研修医の先生もいます。研修内容の比較に関しては、私個人の意見としては大学病院も市中病院も優劣はつけられないと思っています。もし、このどちらかで悩んでいる方がいたら、両方経験することができるRyuMICプログラムを薦めたいです。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	第三内科			救急 沖縄赤十字			第一内科			精神科	第一外科	
2年目	皮膚科	眼科	病理部	精神科	病理部	皮膚科	地域 医療	病理部				

そんな、どちらも選べる1年目の10月以降に私が院外より院内を選んだ理由は、研修環境の良さでした。研修医室の快適さや、それを維持して下さるスタッフ、共に働く同輩、今では後輩達にも助けられ、何かと気苦労の絶えない研修生活を楽しく過ごすことができます。研修病院のアピールとしては蔑ろにされがちな事ですが、研修医室の居心地の良さは大事な要素の一つだと思いますし、この点で優れていると自信を持って断言します！

研修2年目に入ってから、初期研修の必修項目を達成できるようローテーションを調整しながら、無事来年度からの進路を決めることができました。RyuMICを既に選んでくれた後輩だけでなく、私のように悩んでいる医学生にもRyuMICの後輩となってほしいと薦めます。